



モンタナ大学の学生ホール風景(光の庭)

異なる環境の中で生活してみても、日本語や日本語の本質が再認識できます。また、自

【留学の成果】

尚絅大学の留学生は、七月下旬に渡米、夏の語学研修特別コース三週間を経て、秋学期(八月下旬〜十二月中旬)の正規の能力別英語クラスに出席。成績上位者は一般学生の授業にも一部参加可能。寮のルームメイトはアメリカ人で、希望者にはホームステイも組み入れ可能。ボランティアの会話パートナーが生活や会話をサポートしてくれます。参加費用は約百万円(為替変動あり。夏の特別コースのみの参加も検討中)。米国内の小旅行代金(約十五万円)が別途必要。小旅行先として、シアトルと、氷河またはイエローストーン国立公園と、ロサンゼルスが候補地です。ぜひ参加してください。

【留学計画】

尚絅大学は、モンタナ大学との協定により、新しい語学留学制度(六ヶ月)を来夏より実施します。これまではコミュニケーション・コースの二年生のみが対象でしたが、今後は尚絅大学の二年次以上の在学生なら誰でも参加できます。取得した単位は、本学の単位に読み替えられ、休学することなく卒業できます(学年やコースにより必須授業と重なり卒業が遅延する場合があります)。卒業生の参加も考えています。

【新しい留学制度】



モンタナ大学のキャンパス風景

モンタナ大学への留学

異文化体験が自分を変える。

文化言語部文化言語学科長
 教授 中村 幸士郎

【留学で花開く将来】

留学により、英語力の向上はもちろんのこと、世界に目が開け、あなたの将来の可能性が大きく高まります。留学で培った英語力を生かし、国際舞台で活躍している先輩が大勢います。来春から日本航空の国際線で活躍される、四年生の徳富さんへのインタビュー記事が、次のページに出ています。ぜひお読みください。

【ロッキー山麓のミズラ市】

熊本県と姉妹関係にあるモンタナ州は、アメリカ北西部に位置しカナダに国境を接しています。州立のモンタナ大学があるミズラ市(人口約七万五千人)は、ロッキー山脈に抱かれた小さな町です。町から車で北西部へ一時間も進めば、氷河を頂く林立した峰が迫ってきます。大学町ミズラは四方を緩やかな丘陵に囲まれ、極めて清潔安全で洗練されており、図書館・美術館など文教的な環境がよく整い、国際空港もあります。道行く人のほとんどは白人です。昔は金を産出しましたが、今は大学と林業が中心です。町の中心部は、大学に隣接し、徒歩や自転車でも十分行動できます。夏は涼風の中で釣・カヌー、冬はスキー・スケートと、四季を通じ風光明媚な大自然の中でスポーツが楽しめる。



モンタナ大学の売店(書籍)風景

しめるため、裕福な医師や退職者が移り住む町として知られています。

【州立のモンタナ大学】

モンタナ大学のキャンパスは山裾に広がっており、緑豊かでゆったりしており、落ち着いて勉学に集中できます。多様な学部・学科が揃い、教職員も多く、学生数は約一万四千人。尚絅大学の学生は、世界の約九十カ国から集う約五百人の中で、国際色豊かな生活を楽しむことになっています。

学内には、マンズフィールド図書館(著名な駐日米大使にちなむ)、大学センター(書店・売店・食堂・映画館・娯楽施設等が揃う)、現代的スポーツ施設、スタジアム、学生寮などの施設が完備し、留学生生活を送るには申し分ありません。

己自身の過去、現在・未来を再確認することで、新しい視点で新しい自己の可能性の追求ができるようになります。語学力の向上や異文化理解に加え、これこそ一生の宝となるまたたき貴重な発見と経験であり、観光旅行では決して得られません。

人生は「自己発見の旅」と言われますが、多く

くの海外体験を持つ私は、留学こそ自己発見への最善・最短の方法であり、将来何倍にも生かされるすばらしい教育投資であると確信しています。

尚絅大学からモンタナ大学に留学しないう。そしてかけがえのない人生を大切に生かして、世界に羽ばたきましょう。

在学生紹介

【コミュニケーションコース
 四年生 徳富希予さん
 日本航空グループ・
 ジェラルウェイ採用内定】

来春から国際線の客室乗務員として活躍が期待されている徳富さんに、尚絅大学入学の動機、学生生活、そしてこれからの抱負について語ってもらいました。



Q客室乗務員はどれだけの職業?

実は、小さい頃からピアノを習っていたので、幼稚園の先生になることが夢でした。転機が訪れたのは、高二の夏。アメリカで一ヶ月間ホームステイを体験したことで、世界観がすっかり変わりました。さまざまな生き方があることを発見したので。

Q尚絅大学入学を決めたのは?

将来、たくさんの選択肢の中から職業を選ぶとしたら、広く知識を身につける必要があると感じたこと、留学がカリキュラムの中に組み込まれていることが、何よりの魅力でした。

少人数制で先生との距離も非常に近い尚絅大学は、安心して勉強できる居心地のよさはありますが、学生はすべてのことにもっと積極的であるべきでしょう。その思いは、留学して更に強くなりました。

Q留学で得たものは?

先生やホストファミリーやルームメイトなど、たくさんの人々と忘れられない出会いから、本当に多くのことを学びました。受け身の授業ではなく、先生と一緒に授業を作り上げる面白さと同時に、もう一度英語を基礎から学び直したいと思うほどの衝撃を受けました。

Q就職活動はどのように?

先ずは、ファミリーラムに出席したり、いろいろな業種や事業の内容について調べたり、情報収集を積極的に行いました。また、自己分析の必要を痛感しました。過去の経験・現在の自分・将来の希望を踏まえて、自分とどのくらい関係が自分ごとで理解しておくことがとても大切で、就職活動の中で、みんな業種でも、人と人のふれあいが一番大切だと気づいたとき、サービ業界に就くことを考えるようになりました。

Q後輩へのアドバイスは?

できるだけ多くの体験をすることをお勧めします。私は、現在、病院と幼稚園で週一回ずつボランティア活動をしています。このボランティア活動やアルバイト先、そして日本とアメリカの大学で出会ったすべての人々が、今の私を作ってくれていると思います。周りの人々にいつも助けってもらいました。五年後、十年後の自分を想像して、将来のビジョンを描きながら、後の自分を積極的に求めて生きることをお勧めします。私も、これからもそういう生き方を続けて行きたいと思っています。